

平成30年度
国語

(解答用紙は別紙としてこの冊子にはさんであります。)

問一 ― 線部a)～f)のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直し、それぞれ解答欄に答えなさい。

問二 [A] [C]に入る最も適当な言葉を次の中から選び、それぞれ解答欄に記号で答えなさい。

【ア たしかに イ いわゆる ウ もちろん エ むしろ オ しかし】

問三 [ア] [イ]に入る最も適当な言葉を本文中から抜き出して、それぞれ解答欄に答えなさい。

問四 ― 線部①とありますが、それはどのような意味ですか。本文中の表現を利用して、四十五字以内で解答欄に説明しなさい。

問五 ― 線部②の意味として最も適当な言葉を次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 怒りがこみ上げて反抗的になる。 イ あちらこちらと動き回る。

ウ 疲れ果てて力が抜ける。 エ どうしてよいか分からなくなる。

問六 ― 線部③とありますが、その理由を本文中の表現を利用して、わかりやすく解答欄に説明しなさい。

問七 ― 線部④は「細かいことまで親切に教え導くこと」という意味ですが、(a) (b)に身体の一部を表す漢字を一字入れ、それぞれ解答欄に答えなさい。

問八 ― 線部⑤とありますが、どのようなことを言うのですか。最も適当なものを次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 子どもの多くは自由に物事をつくりあげる可能性を持っているが、学校で学ぶことによってまねることがうまくなり、味気のないものになるということ。

イ 大抵の子どもは、周囲を気にすることなく自由に行動するが、学校で知識を得ることで周囲と全く同じ行動をとるようになるということ。

ウ 子どもの大部分は芸術分野の職業に携われる才能を持つが、学校で学ぶことで価値観が分散され、身近な大人をまねるようになるということ。

エ 大体の子どもは豊かな表現力を持っているが、学校で学ぶことによって、自分で考えるよりも要領よく人をまねることを覚えてしまうこと。

〈下書き用〉

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

次の文章は、『蟹工船』の作者として著名な小林多喜二が、北海道小樽の銀行で働きながら小説を書いていたころを、多喜二の母セキの視点で述べたものである。

優しいって言えば、多喜二が小樽*1の拓銀たくぎんに勤めて、初めての給料もらった時のことだけどね。弟の三吾さんごに、中古のバイオリンを買って来たの。何でも給料の半分もしたって聞いたけどね……。

ああ三吾かね。これまた優しい子で、*2こんまい時から唱歌うただの、ハーモニカが好きだったの。でも、うちじゃあ、ハーモニカも買ってやれなかった。三吾はなあんもねだらんで、人からハーモニカば借りて、いきなり「空に囀る鳥の声」の歌を吹いてね、みんなばぶったまげさせたことがあったの。

兄の多喜二は、慶義けいぎあんつあまのお蔭かげで、商業学校にも、小樽高商*5にもやつてもらえたんだども、三吾は小学校しか出んかった。はあ、三吾だって、商業学校さだって中学校さだって行ける頭だったども、何せ末松つあんがパンやら餅もちを、飯場はんばに背負*6って行くだけでも大変な体だったから、自分から行きたいとは言えんかったのね。わだしもやってやりたいとは思ったども、口に出したところで、*1うちのかまどが許さんかったから、黙っていた。

昔は、長男と次男の扱いが、それだけちがったのね。慶義あんつあまも、三吾のことまでは面倒みてやるとは言わんかった。

だども、多喜二としては、おとなしく引っこんでいる三吾が、どんなにか愛いとしかったんだべ。ある時、三吾が、水産学校の先生が弾ひいているバイオリンの音を聞いた。あんまりきれいな音で、ぶったまげた。そして、弾ひいている人の手を、一生懸命見てたんだべな。あんまり一生懸命見ているんで、その先生が憐あはれに思ったんだべな。ちよつくらさわらせてやろうと、

「ちよつと弾ひいてみるか」

と貸してくれた。一緒にいた多喜二は、(バイオリンなんか持たされても、弾けるわけはない) そう思おもって見ていたんだって。ところが、何ちゆうことかね、「サクラ サクラ」を、一曲弾ひいてしまった。むろん、少しはつかかったども、とにかく弾ひけ

た。そこでそこにいた者たちがぶったまげて、大騒さわぎになった。

「天才だ」

「凄すごい天才だ」

という噂うわさが、ぱつとひろがった。

末松つあんがその話は聞いて、何か思案しあんしていた。*4そしてある日古道具屋に行つてみた。中古なら安いべと思つたが、末松つあんには高くて手が出んかった。そのことを、末松つあんは、そつとわだしに聞かせてくれたの。わだしは何げなく多喜二に、「お父つつあんは、バイオリン買かいに、古道具屋に行つたんだと。だども高くて買えんかったんだと」

つて、言いって聞かせた。多喜二はそんな時、

「ふーん」

と言いったきりだったから、心にとめていたとは思えんかった。

ところが多喜二は、初給料をもらったその日、バイオリンをかついで帰つて来た。

みんな飛び上がって喜んだ。三吾はバイオリンを抱かきしめて、頬ほずり*2をして喜んだ。それば見て末松つあんは、肉の落ちた肩をふるわせて泣ないていたっけ。

あん時のうれしかったこと。

(ああ、生きていてよかった)

わだしは、しみじみと思つた。わだしらは貧乏かも知れん。亭主の体は弱いかも知れん。人から見れば、何の値あたもない一家かも知れん。しかし人間生きていれば、こんなうれしい目にも遇あえる。そんな喜びはそのあとにも何度もあつた。むろん、それを打ち破るあの多喜二の辛い目にも遭あつたども……。とにかく、毎日明るく楽しく暮らした家だった。

そうそう、あんたさん、多喜二はバイオリンを買かって来ただけではない。ある学校の音楽の先生に頼たんで、三吾のバイオリンの先生になつてくれるように、ちゃんと頼たんで来てくれた。それを聞いた時うれしくてね。三吾が初めてバイオリンを習まいに行いく日は、わだしは赤飯あかひんを炊たいて祝いわつてやった。だつてさ、それは三吾の入学式の日だもんね。三吾が、ぴよこぴよこ踊まるように、

バイオリンかついで行く姿を、末松つあんとわだしは、いつまでも見送っていたっけ。

さあ、それからというもの、三吾は毎日毎日、熱心にバイオリンの稽古にハゲんだの。でもね、あんたさん、わだしらの家は、店のほかは、たったの二間だったもね。三吾がバイオリンを弾く傍で、多喜二は本を読んだり、小説を書いたりしていた。バイオリンと小説書くのが同じ部屋では、小説書くほうはやりきれたもんでないべし。

わだしはそう思ったどもね、多喜二はただの一回だって、「うるさい」なんて言わなかった。三吾がつつかかり、つつかかり、同じ所を弾いていても、多喜二は眉根も寄せない。多喜二はそんな優しい兄貴だった。多喜二つて子は、どのきょうだいにも、荒々しい言葉は使わん子だった。何でも静かに言っけて聞かせる子だった。

けどね、三吾がね、

「母さん、おれ、たった一度だけあんちゃんに叱られた」

と、わだしに言っけて聞かせたことがあった。それはね、三吾のバイオリンがかなり上手になった頃の話だけどね。いつものとおり、茶の間で三吾がバイオリンの練習をしていた。そこへ多喜二が外から帰って来た。その多喜二が、

「三吾、そのところ、そんな音色でいいのか？」

っ、聞き咎めたんだって。三吾は明るい子で、

「あ、いいんだ、いいんだ。本番の時はちゃんといいい音色を出すから」

っ、答えたんだって。すると、怒ったことのない多喜二が顔色を変えて怒った。今まで聞いたこともない大声で、

「三吾！ 練習で出せない音色が、どうして本番の時に出せる!? そんな態度なら、バイオリンをやめてしまえ！」

っ、怒鳴ったんだって。怒鳴られて三吾はふるえ上がった。そして、人が聞いていようがいまいが、バイオリンを手にしたなら、本当にシンケンに弾かなければ、音楽に対してシツレイなだと、身に沁みて思ったっていうの。

ああ、この三吾ですか？ それがねえ、お陰さまで、東京交響楽団とかで、第一バイオリンを勤めるようになりました。いいお嫁さんをもらっけてね、今も東京に住んでいますの。

(出典 『母』 三浦綾子)

*1 拓銀 —— 北海道拓殖銀行の略称。

2 こんまい時 —— 幼い時。

3 唱歌 —— 学校教育用の歌。

4 慶義あんつあま —— 多喜二の父末松の兄。

5 小樽高商 —— 現在の小樽商科大学。

6 飯場 —— 日本において鉱山労働者や大規模な土木工事や建築現場での作業員用の給食および宿泊施設のこと。

問一 —— 線部①②③④⑤のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直し、それぞれ解答欄に答えなさい。

問二 —— 線部①とありますが、それは家庭のどのような状況を言っていますか。漢字二字で解答欄に答えなさい。

問三 —— 線部②とありますが、どうして「末松つあん」は「泣い」たのですか。その理由を解答欄に述べなさい。

問四 —— 線部③「眉根も寄せない」の意味として最も適当な言葉を次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

【ア 相手にしない。 イ 元気が出ない。 ウ 表情を変えない。 エ 笑わない。】

問五 —— 線部④とありますが、多喜二は三吾のどのような態度を怒ったのですか。本文中の言葉を使って四十字以内で解答欄に答えなさい。

問六 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 多喜二は伯父のおかげで上級学校に行くことができたが、小学校までしか行くことができなかった三吾に常に負い目を感じていた。

イ 多喜二は父の末松が古道具屋で中古のバイオリンを買えなかった話を聞いた時から、三吾にバイオリンを買い与えようと思っていた。

ウ 多喜二はバイオリンを買って来ただけでなく、音楽学校の先生に頼んで、三吾のバイオリンの先生を探してもらうように依頼した。

エ 多喜二はバイオリンの練習をする三吾に「うるさい」と言わなかったが、小説を執筆している時に、一度だけ叱ったことがあった。

【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人としては、善(長所を誇らず 何者とも争わないこと)にほこらず、物と争はざるを徳とす。他(1)にまさることのあるは、大なる失なり。品(気品)の高
さにも、才芸の優れたるにても、先祖の誉(名譽でも)れにても、人にまされりと思へる人は、たとひ言葉にいでて
こそ言はねども、内心(たくさんの)にそこばくの(2)とがあり。慎みてこれを忘るべし。を(愚かな人間にも)こにも見え、人にもいひけたれ、
わざはひ(a)をも招くは、ただこの慢心なり。一道にもまことに長じぬる人(秀でた人)は、みづからあきらかにその非(3)を
知るゆゑ(b)に、志つねに満たずして、つひに物に誇ることなし。

(出典 『徒然草』)

問一 —— 線部a・bを現代かなづかいに直し、ひらがなで解答欄に答えなさい。

問二 —— 線部①とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア人より勝っていることのある人は、他人からのねたみや嫉妬をうけやすいので、災いを招きやすいから。
イ人より勝っていることのある人は、能力が低い人の気持ち理解できないので、誤解されやすいから。
ウ人より勝っていることのある人は、そのことだけで満足して、更なる上をめざそうとしないから。
エ人より勝っていることのある人は、知らぬうちにおごりたかぶるので、身の損となりやすいから。

問三 —— 線部②のここでの意味として最も適当なものを次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

【ア 過失 イ 誤解 ウ 見栄 エ 長所】

問四 —— 線部③「その」が示している内容として最も適当なものを次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

【ア 才芸 イ 慢心 ウ 先祖の誉れ エ とが オ わざはひ】

問五 本文の内容として最も適当なものを次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 一道に長じた人は、先祖の誉れを何よりも大切にしているものだ。
イ 一道に長じた人は、素直に人の意見を受け入れなくてはならない。
ウ 一道に長じた人は、欠点を知っているから人に誇ることはない。
エ 一道に長じた人は、必ず自分の勝っている点を主張するものだ。

問六 『徒然草』の作者を次の中から選び、解答欄に記号で答えなさい。

【ア 清少納言 イ 兼好法師 ウ 紫式部 エ 松尾芭蕉 オ 鴨長明】

受験番号

氏名

【一】

問一

① 優雅 〓

② 従順 〓

③ ヨウキユウ 〓

問二

④ 過言 〓

⑤ ニガテ 〓

⑥ ケイカイ 〓

問三

A

C

問四

ア

イ

問五

問六

問七

問八

問七

a

b

問八

【二】

問一

① 思索 〓

② 踊る 〓

③ ハゲんだ 〓

んだ

問二

④ 音色 〓

⑤ シンケン 〓

⑥ シツレイ 〓

問三

問四

問五

問六

問六

【三】

問一

a

b

問二

問三

問四

問五

問六